

# おひさまぴよぴよ Q & A

## Q1 雨の日もやっているの？

天候不良の際はHPの「中止のお知らせ」にて開催の有無をお知らせしています。

## Q2 帰る時間は自由なの？

はい。自由です。お子さんとご家庭の都合を優先してくださいね。小さい子は午前中に、たっぷりあそべると帰るのもスムーズですよ。

## Q3 4歳以上は利用できるの？

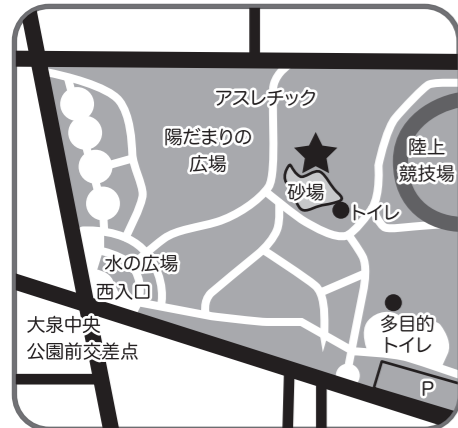
公園で開催していますのであそびに来ることは可能ですが、おひさまぴよぴよの対象は0歳～3歳になります。

## Q4 誰がやっているの？

「NPO 法人あそびっこネットワーク」が練馬区から「外遊び型子育てのひろば事業」の委託を受けて開催しています。

### 都立大泉中央公園

大泉学園町9-4-3  
毎週火曜日 9:30～13:30



### 練馬区立中村かしわ公園

中村1-17-1  
毎週水曜日 9:30～13:30



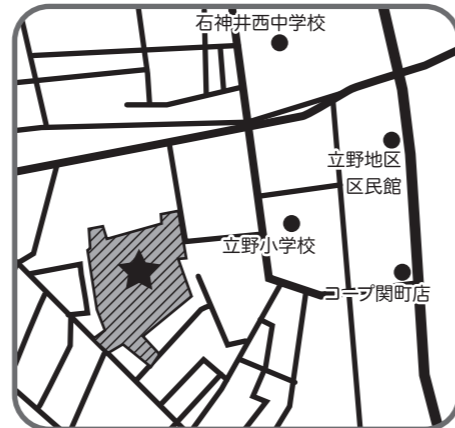
### 練馬区立豊玉公園

豊玉北6-8-3  
毎週火曜日 9:30～13:30



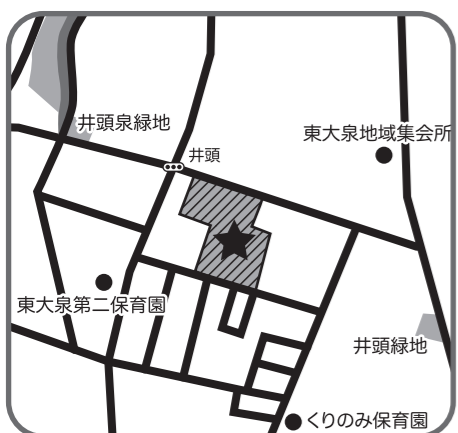
### 練馬区立立野公園

立野町32-1  
毎週水曜日 9:30～13:30



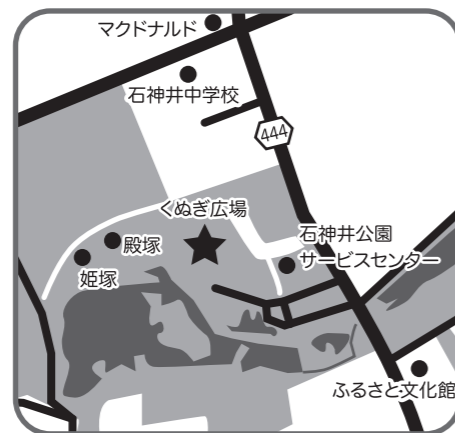
### 練馬区立井頭の森緑地

東大泉7-26-8  
毎週木曜日 9:30～13:30



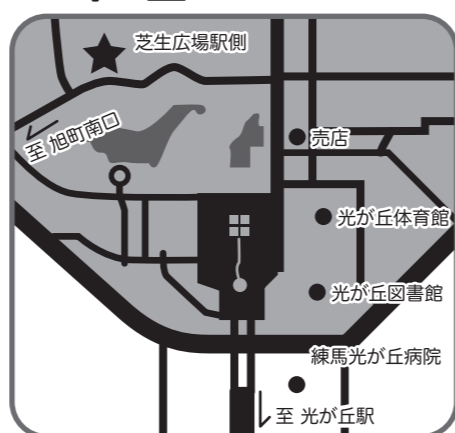
### 都立石神井公園

石神井台1-26-1  
毎週金曜日 9:30～13:30



### 都立光が丘公園

光が丘4-1-1  
毎週木・金曜日 9:30～13:30



# おひびよ通信



練馬区外遊び型  
子育てのひろば事業

2019年 vol.13

0.1.2.3歳親子であそべる  
「外遊び型子育てのひろば」です！  
区内7か所 9:30～13:30  
(実施場所・曜日は最終ページを見てね)

ビュンビュンッ！  
長いものを持つのって  
楽しいんだよね。  
やわらかくて、  
なが～いもの、  
おひびよにならあるよ～



トントン、ぺたぺた。  
すこしぐらい汚れてもお互いさま。  
ぼくらは砂山ピタゴラ建築家！



外では、思い切り走ったり、  
ジャンプしたりできるよ！



秋は自然素材がいっぱい！

どこまでも歩きたい！  
でこぼこ、さかみち、  
落ち葉しゃっかしゃっか♪



つつつ、ククク、ころころ！  
いろんな感触おもしろい。



## おひびよではっけんタイム 秋の自然をあそんじゃお！！

都会でも、自然はごく身近にあります。それに気づけばどこでも外あそびが楽しめちゃうかも!?  
土、木、葉、実、風、石、生き物!? そのどれもが子どもたちのあそび心を刺激してくれるんですよ。  
何でもない身近なものがあそびのタネになる体験、一緒にしてみましょう。  
コツは、まず大人が面白がること♪ スタッフも一緒に「はっけん」するぞ!

- 日程 9月/10月/11月第4週
- 時間 10:00～11:00
- 持ち物 持っている人は虫カゴ、虫あみ、ビニール袋
- 場所 各おひさまぴよぴよ会場
- 対象 幼児親子だれでも

※詳細はウェブサイトでご確認ください。



発行 / NPO 法人あそびっこネットワーク  
【事務局】  
所在地：練馬区旭町1-16-1  
電話：03-3976-3113 (月～金曜 9:30～16:00)  
E-mail: asobikkonet@gmail.com



あそびっこ HP  
asobikkonet.com



facebook ページ  
fb.com/asobikkonet



# 「おひさまぴよぴよ」って、どんなところ?

あそび道具を積んだ「おひびよワゴン」が区内7か所の公園に出かけています。0～3歳の子どもたちとその保護者が、外でたくさんあそべて、自然と地域に仲間が増えていく、そんな場所です。



## POINT 1

**おひびよスタッフがみんなを迎えます**  
オレンジ色の服が目印!  
わからないことは何でも聞いてね。



## POINT 3

**大きなシートとブランケットがあります**  
赤ちゃんもゴロゴロ、お部屋みたいにくつろいだり、ちょっとひと休み。ごはんやお昼寝もOK!  
みんなの居場所があると、公園はぐーんと楽しくなるね。

## POINT 4

**お砂場着、帽子の貸し出しがあります**  
忘れちゃった! そんなときは使ってね。  
(数に限りがあるので、使えない場合もあります)



## POINT 2

**あそび道具がたくさんあるよ**  
おひびよにあるのは、おもちゃというより「道具」。  
どう使うかはアイデア次第。  
子どもたちの発想を大人も楽しんじゃおう。



## おひびよの一日

9:30

おひびよスタッフが道具を出すよ。  
みんなもお手伝いよろしくね～



好きなことを  
してあそんでいます



スタッフは、子どもたちが  
あそび出しやすい環境を整えます。  
大人のみんなどともたくさん話したいな!

11:30 ごろ

おなかのすいたら自由にお昼ごはん。  
お弁当を持ってきても、近くで買ってきても。



ごはんの後は、お昼寝するもよし、まだまだあそぶもよし。  
疲れたら、好きな時間に帰れるよ。

13:00 すぎ

「またねの会」で、紙しばい&手あそびしましょ。  
「おしまい」の心の準備をお手伝い。



13:30

今日のおひびよはおしまい。  
あそんだ道具をお片付けて、さあ、おうちに帰ろう。

午前中にたっぷりあそぶと、  
生活リズムが整いやすいよ。  
おひびよの時間を  
うまく使ってもらえたら嬉しいです。



コドモ心を覗けるメガネ、かけてみよ!



## 「イヤ!」を翻訳してみたら… 子どもの成長と、 「もどかしい」気持ちが見えてきた

「あれもイヤだ、これもイヤだ! 家ではもう大変なんです」  
「やりたいこと」と「できること」の差や、詳細を伝えられないもどかしさ、いろんな感情が育つ時期。とはいえ、大人は大変! おひびよでも、ママたちからそんな悩みをよく聞きます。  
「でも、おひびよでは、そう見えないね?」  
そんな問いかけにはとっとして、「自分のしたいように遊べているからかな」と教えてくれたお母さんがいました。おひびよにある道具や素材は、使い方、あそび方に制限が少ないものを、数も多く用意しています。

すると子どもたちは「こうしてみよう」という思いつきのままに存分にあそべるし、大人も制止をする場面が少なくなり、おおらかに見守っていられます。  
「イヤ!」という短い言葉の中にある「もっとこうしたい!」「自分でやってみたい!」「気持ちをわかってほしい!」という‘want’の部分。自分自身への信頼と、受け止めてくれる誰かがいるから出せる言葉。  
全部に付き合うのは、ごめん無理。だけど、「したいようにできる」時間が増やせたら、「イヤ!」も少しは減らせるかもしれない…ね。

「あそんであげなきゃ!」って思っていたけれど他の子のあそびが刺激になるみたい。  
私からぜんぜん離れなかったのに、どんどんひとりであそび出すようになったの。いつの間にか安心して自信に満ちているわが子に拍手!

2歳11ヶ月 ママより



普段は止めちゃうあそびも、おひびよなら「ま、いっかな」と笑って見ていられる。  
あそびに来ているママたちもおおらかに見ていてくれるから気が楽。

3歳4ヶ月 ママより



## みんな教えて! / なんでいいの? 外あそび

参加者さんの声、集めました!

おひびよに来てあそぶと、しっかりあそべるから、生活リズムが整うようになった。  
夜も寝かしつけしなくても、すぐ寝てくれるよ～

1歳10ヶ月 ママより



はやくくればよかった～

## 遊ぶからわかる ‘自分の痛みと他人の痛み’

高さの感覚は5歳までに80%が育つのだそうです。

公園に登り棒などの遊具があるのも、高さという感覚、高いことが怖いという感覚を育てるためです。でも、そういう感覚を持ってないまま中高生になったとしたらどうでしょう? 幼い子どもより力があるだけに、悪ふざけのつもりで命が危険にさらされるようなことをやりかねません。ところが、今は子どもからどんどん危険を遠ざける傾向にありますよね。

<引用元:STUDY HACKER こどもまなび☆ラボ  
TOKYO PLAY代表理事・嶋村仁志さんインタビュー記事>

(中略) そんな環境で育った子どもは、チャレンジできないまま体だけが成長し、本当の危険や恐怖を実体験のなかで得ることができない。そうすると、自分の痛みを知らないばかりか、他人の痛みにも共感することができない。それは、子ども自身はもちろん、その周囲の人にとっても危険なことでもあります。(中略) これだけ子どもが遊べない社会になると、遊ぶことを大事にできる大人を増やさなければなりません。